

外国語科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの実態・学習効果測定結果の分析

	5 年	6 年
知識・技能	・月の名前や数字、季節、天候など、日常で使用する単語は理解できている。アルファベットに触れる経験が少なく、罫線に合わせて大文字や小文字を書くことが苦手な児童がいる。	・目標値とほぼ等しい。 ・日常で使用する基本的な単語や慣用表現の理解はできているが、アルファベットの読みと書きを正しく理解していない児童がいる。
思考・判断・表現	・天気や曜日など、始業時の簡単な質問に単語で答えることができる。質問されたことに、既習の表現を使って答えられる児童とそうでない児童の個人差が大きい。 ・アイコンタクトをして答えたりジェスチャーを交えて表現したりすることの個人差が大きい。	・目標値をやや下回っている。 ・日常生活に関する対話を聞き分けることができている。例文を参考にしてスピーチをする際、発音やジェスチャーなどの表現をすることが苦手な児童が多い。
主体的に学習に取り組む態度	・英単語を使ったゲームに積極的に取り組むことができる。 ・友達と英語で会話しようとする児童は多いが、A L Tと積極的にコミュニケーションをとることができる児童は限られている。	・目標値を大きく下回っている。 ・英単語を使ったゲームには意欲的である。自分から英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする児童は少ない。英語に対して苦手意識を感じている児童が多い。

2 課題と授業の改善策

		5 年	6 年
課 題	知識・技能	○罫線に合わせてアルファベットの文字や単語、簡単な文を書くこと。	○基本的な質問を聞き取り、簡単な英語で答えること。 ○大文字や小文字を使い分け、罫線に正しく英単語や簡単な文を書くこと。
	思考・判断・表現	○質問されたことに適切に答えられる表現を考えて、発話すること。	○相手に聞き取りやすい声の大きさとで表現すること。
	主体的に学習に取り組む態度	○自分からA L Tや友達に英語で話しかけようとする事。	○自分から教師や友達に英語で話しかけ、自信をもって発言したり表現したりすること。
授 業 の 改 善 策	知識・技能	○カードやワークシートを活用し、書く練習を繰り返し行う。	○曜日、天気などの基本的な質問に答える機会を毎時間設け、知識の定着を図る。 ○発表原稿など簡単な英文を書く機会を設け、書く練習を繰り返し行う。
	思考・判断・表現	○話型や文型を提示し、発言の仕方や内容を繰り返し練習させ、取り組ませる。	○声を出す習慣を身に付けさせるために、簡単な英単語やあいさつなど全員で声を出せる機会を多く設ける。 ○話型や文型を提示し、発言の仕方や内容を繰り返し練習させ、取り組ませる。
	主体的に学習に取り組む態度	○担任も児童に積極的に英語で話しかけ、英語で話すことへの抵抗感を減らして学習に臨ませる。	○班や友達同士で活動する場面を増やし、安心して英語表現に取り組める場を設ける。

